

**タイトル: GST-envZB融合タンパク質(約46.3 kDa)の発現と精製**

カテゴリ: タンパク質発現

キーワード: pCold GST DNA, pCold, GST, 大腸菌コールドショック発現系, TaKaRa Competent Cell BL21, GSTタグ融合タンパク質, GSTアフィニティー精製

データソース: タカラバイオ株式会社

**方法:**

pCold GST DNA(製品コード [3372](#))に大腸菌由来envZB遺伝子(162 aa)を挿入し、TaKaRa Competent Cell BL21(製品コード [9126](#))に導入後、使用方法に従って発現誘導を行った。菌体破砕液を可溶性画分と不溶性画分に分けた。各画分について、12%ポリアクリルアミドゲルを用いたSDS-PAGE/CBB染色により分析した。

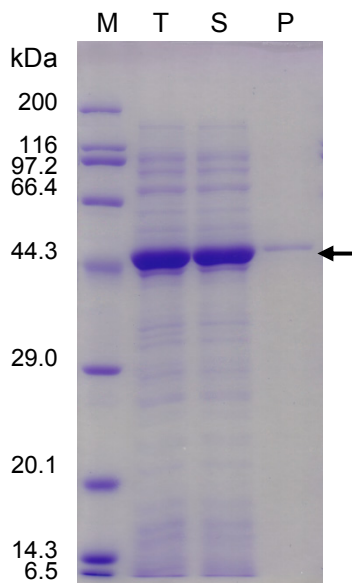
GST-envZB融合タンパク質を発現させた菌体破砕液の可溶性画分よりGlutathione-Superflow Resin 5.5 ml(製品コード [635607/635608](#))を用いて精製した。溶出は、33 mM 還元型グルタチオンを含む50 mM Tris-HCl, pH 8.0を用いて行った(2 ml/画分)。得られた精製画分について、12%ポリアクリルアミドゲルを用いたSDS-PAGE/CBB染色により分析した。

**結果:**

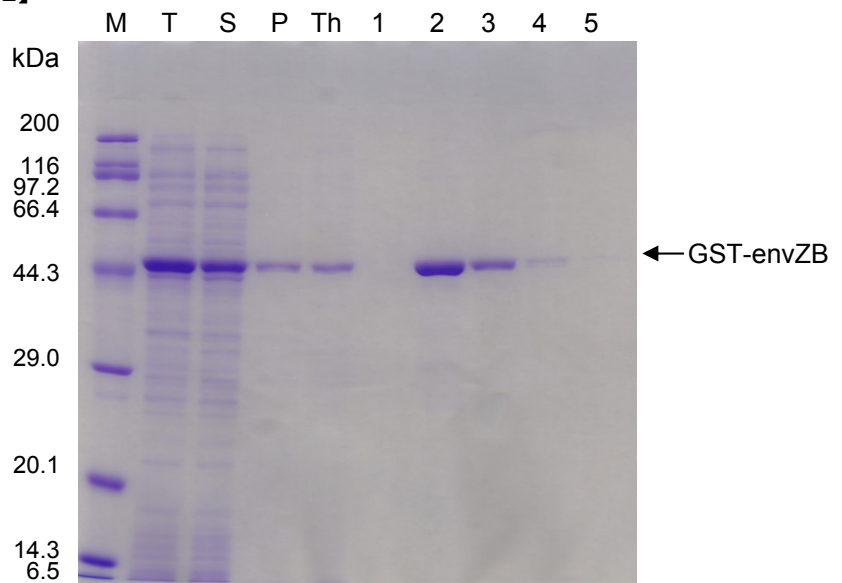
GST融合タンパク質が高発現し、大部分が可溶性画分に得られた(図1)。

Glutathione-Superflow Resin精製により、目的のGST融合タンパク質が高純度を得られた(図2)。

【図1】



【図2】



M: Protein Molecular Weight Marker (Broad)

T: 菌体破砕液

S: 菌体破砕液可溶性画分

P: 菌体破砕液不溶性画分

Th: Glutathione-Superflow 非吸着画分

1: Glutathione-Superflow 溶出画分 1

2: Glutathione-Superflow 溶出画分 2

3: Glutathione-Superflow 溶出画分 3

4: Glutathione-Superflow 溶出画分 4

5: Glutathione-Superflow 溶出画分 5

**備考:** 参考製品リンクProtein Molecular Weight Marker (Broad) (製品コード [3452](#))TaKaRa Competent Cell BL21 (製品コード [9126](#))Glutathione-Superflow Resin (製品コード [635607/635608](#))